

開講年度	令和 3 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	加藤 佳明・董 信子
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分	総授業回数 30 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 1 回で 30 週実施 )		単位数	4単位	
授業内容	ビジネスマナー、面接対策、公務員試験全般についての指導				
到達目標	専門学校生、また公務員試験に向かう者としてのビジネスマナーや面接マナーが分かるようになる。自己分析により、自分をより深く知り、自己PRにつなげられるようになる。				
担当教員 実務経験	加藤：なし 董：客室乗務員として国際線に乗務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(火)	2	自己分析 (自身の長所・短所等) 公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/20(火)	2	身だしなみとおしゃれの違い 公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/27(火)	2	第一印象に必要な5要素 挨拶 公務員試験受験指導、適性検査	
4	5/11(火)	2	第一印象に必要な5要素 表情 公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/18(火)	2	第一印象に必要な5要素 立居振舞 公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/25(火)	2	第一印象に必要な5要素 声・発声 公務員試験受験指導、適性検査	
7	6/1(火)	2	第一印象に必要な5要素 敬語等 公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/8(火)	2	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/15(火)	2	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/22(火)	2	既出質問研究 公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/29(火)	2	面接対策 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/6(火)	2	面接対策 グループディスカッション 公務員試験受験指導	
13	7/13(火)	2	模擬面接 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/20(火)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/27(火)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	40 %	学習成果評価 (定期試験)	60 %

開講年度	令和 3 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	加藤 佳明・董 信子
学科	公務員科	コース		学年	1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	9/28(火)	2	公務員面接試験受験指導	
17	10/5(火)	2	公務員面接試験受験指導	
18	10/12(火)	2	公務員面接試験受験指導	
19	10/19(火)	2	公務員面接試験受験指導	
20	10/26(火)	2	公務員面接試験受験指導	
21	11/2(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
22	11/9(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
23	11/16(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
24	11/30(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
25	12/7(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
26	12/14(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
27	12/21(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
28	1/11(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
29	1/18(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
30	1/25(火)	2	後期末試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	田口 和吉・董 信子
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 30 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	ビジネスマナー、面接対策、公務員試験全般についての指導				
到達目標	専門学校生、また公務員試験に向かう者としてのビジネスマナーや面接マナーが分かるようになる。自己分析により、自分をより深く知り、自己PRにつなげられるようになる。				
担当教員 実務経験	田口：なし 董：客室乗務員として国際線に乗務し、機内通訳や機内アナウンスも担当。この経験から学んだことをもとに、面接対策だけでなく、社会人として必要なマナーや良いコミュニケーションの取り方なども伝えていく。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(火)	2	自己分析 (自身の長所・短所等) 公務員試験受験指導、適性検査	
2	4/20(火)	2	身だしなみとおしゃれの違い 公務員試験受験指導、適性検査	
3	4/27(火)	2	第一印象に必要な5要素 挨拶 公務員試験受験指導、適性検査	
4	5/11(火)	2	第一印象に必要な5要素 表情 公務員試験受験指導、適性検査	
5	5/18(火)	2	第一印象に必要な5要素 立居振舞 公務員試験受験指導、適性検査	
6	5/25(火)	2	第一印象に必要な5要素 声・発声 公務員試験受験指導、適性検査	
7	6/1(火)	2	第一印象に必要な5要素 敬語等 公務員試験受験指導、適性検査	
8	6/8(火)	2	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
9	6/15(火)	2	第一印象に必要な5要素 身だしなみ 公務員試験受験指導、適性検査	
10	6/22(火)	2	既出質問研究 公務員試験受験指導、適性検査	
11	6/29(火)	2	面接対策 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
12	7/6(火)	2	面接対策 グループディスカッション 公務員試験受験指導	
13	7/13(火)	2	模擬面接 グループ面接 公務員試験受験指導、適性検査	
14	7/20(火)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	
15	7/27(火)	2	模擬面接 グループディスカッション 公務員試験受験指導、適性検査	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	40 %	学習成果評価 (定期試験)	60 %

開講年度	令和 3 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	田口 和吉・董 信子
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	9/28(火)	2	公務員面接試験受験指導	
17	10/5(火)	2	公務員面接試験受験指導	
18	10/12(火)	2	公務員面接試験受験指導	
19	10/19(火)	2	公務員面接試験受験指導	
20	10/26(火)	2	公務員面接試験受験指導	
21	11/2(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
22	11/9(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
23	11/16(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
24	11/30(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
25	12/7(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
26	12/14(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
27	12/21(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
28	1/11(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
29	1/18(火)	2	漢字検定対策 一般常識	
30	1/25(火)	2	後期末試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (上位)			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )				単位数 4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	1	ガイダンス I-1 命題・論理	
2	4/12(月)	2	I-1 命題・論理	
3	4/15(木)	1	I-2 暗号・規則性	
4	4/19(月)	2	I-3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/22(木)	1	I-3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/26(月)	2	I-4 うそと本当の問題	
7	5/6(木)	1	I-4 うそと本当の問題	
8	5/10(月)	2	I-5 対応関係	
9	5/13(木)	1	I-5 対応関係	
10	5/17(月)	2	I-6 順位・順序(1)	
11	5/20(木)	1	I-6 順位・順序(1)	
12	5/24(月)	2	I-8 順位・順序(2)	
13	5/27(木)	1	I-8 順位・順序(2)	
14	5/31(月)	2	I-9 比較	
15	6/3(木)	1	I-10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (上位)			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース		学年	1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/7(月)	2	I-10 手順	
17	6/10(木)	1	I-11 曜日に関する問題	
18	6/14(月)	2	I-12 位置	
19	6/17(木)	1	I-12 位置	
20	6/21(月)	2	I-13 方位	
21	6/24(木)	1	I-14 道順	
22	6/28(月)	2	II-1 平面図形の分割と構成	
23	7/1(木)	1	II-2 平面図形の個数	
24	7/5(月)	2	II-3 立体図形の分割と個数 II-4 立体の個数	
25	7/8(木)	1	II-5 立方体の展開図 II-6 立方体以外の展開図	
26	7/12(月)	2	II-7 折り紙	
27	7/15(木)	1	II-8 投影図・見取図 II-9 さいころ	
28	7/19(月)	2	II-10 軌跡	
29	7/26(月)	2	II-11 断面図・回転図	
30	7/29(木)	1	前期試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (下位)			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分	総授業回数 30 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )		単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	1	ガイダンス I-1 命題・論理	
2	4/12(月)	2	I-1 命題・論理	
3	4/15(木)	1	I-2 暗号・規則性	
4	4/19(月)	2	I-3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/22(木)	1	I-3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/26(月)	2	I-4 うそと本当の問題	
7	5/6(木)	1	I-4 うそと本当の問題	
8	5/10(月)	2	I-5 対応関係	
9	5/13(木)	1	I-5 対応関係	
10	5/17(月)	2	I-6 順位・順序(1)	
11	5/20(木)	1	I-6 順位・順序(1)	
12	5/24(月)	2	I-8 順位・順序(2)	
13	5/27(木)	1	I-8 順位・順序(2)	
14	5/31(月)	2	I-9 比較	
15	6/3(木)	1	I-10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (下位)			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース		学年	1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/7(月)	2	I-10 手順	
17	6/10(木)	1	I-11 曜日に関する問題	
18	6/14(月)	2	I-12 位置	
19	6/17(木)	1	I-12 位置	
20	6/21(月)	2	I-13 方位	
21	6/24(木)	1	I-14 道順	
22	6/28(月)	2	II-1 平面図形の分割と構成	
23	7/1(木)	1	II-2 平面図形の個数	
24	7/5(月)	2	II-3 立体図形の分割と個数 II-4 立体の個数	
25	7/8(木)	1	II-5 立方体の展開図 II-6 立方体以外の展開図	
26	7/12(月)	2	II-7 折り紙	
27	7/15(木)	1	II-8 投影図・見取図 II-9 さいころ	
28	7/19(月)	2	II-10 軌跡	
29	7/26(月)	2	II-11 断面図・回転図	
30	7/29(木)	1	前期試験	



開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (上位)			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )				単位数 4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	1	ガイダンス I-1 命題・論理	
2	4/12(月)	2	I-1 命題・論理	
3	4/15(木)	1	I-2 暗号・規則性	
4	4/19(月)	2	I-3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/22(木)	1	I-3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/26(月)	2	I-4 うそと本当の問題	
7	5/6(木)	1	I-4 うそと本当の問題	
8	5/10(月)	2	I-5 対応関係	
9	5/13(木)	1	I-5 対応関係	
10	5/17(月)	2	I-6 順位・順序(1)	
11	5/20(木)	1	I-6 順位・順序(1)	
12	5/24(月)	2	I-8 順位・順序(2)	
13	5/27(木)	1	I-8 順位・順序(2)	
14	5/31(月)	2	I-9 比較	
15	6/3(木)	1	I-10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (上位)			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/7(月)	2	I-10 手順	
17	6/10(木)	1	I-11 曜日に関する問題	
18	6/14(月)	2	I-12 位置	
19	6/17(木)	1	I-12 位置	
20	6/21(月)	2	I-13 方位	
21	6/24(木)	1	I-14 道順	
22	6/28(月)	2	II-1 平面図形の分割と構成	
23	7/1(木)	1	II-2 平面図形の個数	
24	7/5(月)	2	II-3 立体図形の分割と個数 II-4 立体の個数	
25	7/8(木)	1	II-5 立方体の展開図 II-6 立方体以外の展開図	
26	7/12(月)	2	II-7 折り紙	
27	7/15(木)	1	II-8 投影図・見取図 II-9 さいころ	
28	7/19(月)	2	II-10 軌跡	
29	7/26(月)	2	II-11 断面図・回転図	
30	7/29(木)	1	前期試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (下位)			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )				単位数 4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	1	ガイダンス I-1 命題・論理	
2	4/12(月)	2	I-1 命題・論理	
3	4/15(木)	1	I-2 暗号・規則性	
4	4/19(月)	2	I-3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/22(木)	1	I-3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/26(月)	2	I-4 うそと本当の問題	
7	5/6(木)	1	I-4 うそと本当の問題	
8	5/10(月)	2	I-5 対応関係	
9	5/13(木)	1	I-5 対応関係	
10	5/17(月)	2	I-6 順位・順序(1)	
11	5/20(木)	1	I-6 順位・順序(1)	
12	5/24(月)	2	I-8 順位・順序(2)	
13	5/27(木)	1	I-8 順位・順序(2)	
14	5/31(月)	2	I-9 比較	
15	6/3(木)	1	I-10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I (下位)			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/7(月)	2	I-10 手順	
17	6/10(木)	1	I-11 曜日に関する問題	
18	6/14(月)	2	I-12 位置	
19	6/17(木)	1	I-12 位置	
20	6/21(月)	2	I-13 方位	
21	6/24(木)	1	I-14 道順	
22	6/28(月)	2	II-1 平面図形の分割と構成	
23	7/1(木)	1	II-2 平面図形の個数	
24	7/5(月)	2	II-3 立体図形の分割と個数 II-4 立体の個数	
25	7/8(木)	1	II-5 立方体の展開図 II-6 立方体以外の展開図	
26	7/12(月)	2	II-7 折り紙	
27	7/15(木)	1	II-8 投影図・見取図 II-9 さいころ	
28	7/19(月)	2	II-10 軌跡	
29	7/26(月)	2	II-11 断面図・回転図	
30	7/29(木)	1	前期試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (上位)			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	1	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/13(火)	1	I-1 虫食い算	
3	4/14(水)	1	I-2 魔方陣	
4	4/20(火)	1	I-3 倍数と約数	
5	4/21(水)	1	I-3 倍数と約数	
6	4/27(火)	1	I-4 整数問題	
7	4/28(水)	1	I-4 整数問題	
8	5/11(火)	1	I-5 数の性質	
9	5/12(水)	1	I-5 数の性質	
10	5/18(火)	1	I-6 方程式・不等式	
11	5/19(水)	1	I-6 方程式・不等式	
12	5/25(火)	1	I-6 方程式・不等式	
13	5/26(水)	1	I-7 集合	
14	6/1(火)	1	I-7 集合	
15	6/8(火)	1	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (上位)			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(水)	1	I-8 割合・百分率	
17	6/15(火)	1	I-9 濃度	
18	6/16(水)	1	I-9 濃度	
19	6/22(火)	1	I-10 対比	
20	6/23(水)	1	I-11 利益	
21	6/29(火)	1	I-12 速さ	
22	6/30(水)	1	I-12 速さ	
23	7/6(火)	1	I-12 速さ	
24	7/7(水)	1	I-13 場合の数	
25	7/13(火)	1	I-14 確率	
26	7/14(水)	1	I-14 確率	
27	7/20(火)	1	II-1 三平方の定理	
28	7/21(水)	1	II-2 円・おうぎ形の面積	
29	7/27(火)	1	II-3 立体の体積と表面積	
30	7/28(水)	1	前期末試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (下位)			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )				単位数 4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	1	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/13(火)	1	I-1 虫食い算	
3	4/14(水)	1	I-2 魔方陣	
4	4/20(火)	1	I-3 倍数と約数	
5	4/21(水)	1	I-3 倍数と約数	
6	4/27(火)	1	I-4 整数問題	
7	4/28(水)	1	I-4 整数問題	
8	5/11(火)	1	I-5 数の性質	
9	5/12(水)	1	I-5 数の性質	
10	5/18(火)	1	I-6 方程式・不等式	
11	5/19(水)	1	I-6 方程式・不等式	
12	5/25(火)	1	I-6 方程式・不等式	
13	5/26(水)	1	I-7 集合	
14	6/1(火)	1	I-7 集合	
15	6/8(火)	1	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (下位)			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(水)	1	I-8 割合・百分率	
17	6/15(火)	1	I-9 濃度	
18	6/16(水)	1	I-9 濃度	
19	6/22(火)	1	I-10 対比	
20	6/23(水)	1	I-11 利益	
21	6/29(火)	1	I-12 速さ	
22	6/30(水)	1	I-12 速さ	
23	7/6(火)	1	I-12 速さ	
24	7/7(水)	1	I-13 場合の数	
25	7/13(火)	1	I-14 確率	
26	7/14(水)	1	I-14 確率	
27	7/20(火)	1	II-1 三平方の定理	
28	7/21(水)	1	II-2 円・おうぎ形の面積	
29	7/27(火)	1	II-3 立体の体積と表面積	
30	7/28(水)	1	前期末試験	



開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (上位)			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	1	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/13(火)	1	I-1 虫食い算	
3	4/14(水)	1	I-2 魔方陣	
4	4/20(火)	1	I-3 倍数と約数	
5	4/21(水)	1	I-3 倍数と約数	
6	4/27(火)	1	I-4 整数問題	
7	4/28(水)	1	I-4 整数問題	
8	5/11(火)	1	I-5 数の性質	
9	5/12(水)	1	I-5 数の性質	
10	5/18(火)	1	I-6 方程式・不等式	
11	5/19(水)	1	I-6 方程式・不等式	
12	5/25(火)	1	I-6 方程式・不等式	
13	5/26(水)	1	I-7 集合	
14	6/1(火)	1	I-7 集合	
15	6/8(火)	1	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (上位)			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(水)	1	I-8 割合・百分率	
17	6/15(火)	1	I-9 濃度	
18	6/16(水)	1	I-9 濃度	
19	6/22(火)	1	I-10 対比	
20	6/23(水)	1	I-11 利益	
21	6/29(火)	1	I-12 速さ	
22	6/30(水)	1	I-12 速さ	
23	7/6(火)	1	I-12 速さ	
24	7/7(水)	1	I-13 場合の数	
25	7/13(火)	1	I-14 確率	
26	7/14(水)	1	I-14 確率	
27	7/20(火)	1	II-1 三平方の定理	
28	7/21(水)	1	II-2 円・おうぎ形の面積	
29	7/27(火)	1	II-3 立体の体積と表面積	
30	7/28(水)	1	前期末試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (下位)			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分	総授業回数 30 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )		単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	1	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/13(火)	1	I-1 虫食い算	
3	4/14(水)	1	I-2 魔方陣	
4	4/20(火)	1	I-3 倍数と約数	
5	4/21(水)	1	I-3 倍数と約数	
6	4/27(火)	1	I-4 整数問題	
7	4/28(水)	1	I-4 整数問題	
8	5/11(火)	1	I-5 数の性質	
9	5/12(水)	1	I-5 数の性質	
10	5/18(火)	1	I-6 方程式・不等式	
11	5/19(水)	1	I-6 方程式・不等式	
12	5/25(火)	1	I-6 方程式・不等式	
13	5/26(水)	1	I-7 集合	
14	6/1(火)	1	I-7 集合	
15	6/8(火)	1	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (下位)			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(水)	1	I-8 割合・百分率	
17	6/15(火)	1	I-9 濃度	
18	6/16(水)	1	I-9 濃度	
19	6/22(火)	1	I-10 対比	
20	6/23(水)	1	I-11 利益	
21	6/29(火)	1	I-12 速さ	
22	6/30(水)	1	I-12 速さ	
23	7/6(火)	1	I-12 速さ	
24	7/7(水)	1	I-13 場合の数	
25	7/13(火)	1	I-14 確率	
26	7/14(水)	1	I-14 確率	
27	7/20(火)	1	II-1 三平方の定理	
28	7/21(水)	1	II-2 円・おうぎ形の面積	
29	7/27(火)	1	II-3 立体の体積と表面積	
30	7/28(水)	1	前期末試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題範囲である「自然科学」のうち、生物・化学の分野について講義を行い、公務員試験の出題傾向を知る。				
到達目標	公務員試験「自然科学」(生物・化学分野)が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 理科 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	2	ガイダンス Ⅲ-1 生命の連続	
2	4/12(月)	4	Ⅲ-1 生命の連続	
3	4/14(水)	2	Ⅲ-1 生命の連続	
4	4/19(月)	4	Ⅲ-2 同化と異化	
5	4/21(水)	2	Ⅲ-2 同化と異化	
6	4/26(月)	4	Ⅲ-2 同化と異化	
7	4/28(水)	2	Ⅲ-3 ヒトの体内環境(1)	
8	5/10(月)	4	Ⅲ-3 ヒトの体内環境(1)	
9	5/12(水)	2	Ⅲ-4 ヒトの体内環境(2)	
10	5/17(月)	4	Ⅲ-4 ヒトの体内環境(2)	
11	5/19(水)	2	Ⅲ-5 生物の集団	
12	5/24(月)	4	Ⅲ-5 生物の集団	
13	5/26(水)	2	Ⅱ-1 物質の構成	
14	5/31(月)	4	Ⅱ-1 物質の構成	
15	6/7(月)	4	Ⅱ-1 物質の構成	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(水)	2	Ⅱ-2 非金属の物質	
17	6/14(月)	4	Ⅱ-2 非金属の物質	
18	6/16(水)	2	Ⅱ-3 金属の物質	
19	6/21(月)	4	Ⅱ-3 金属の物質	
20	6/23(水)	2	Ⅱ-4 酸化還元	
21	6/28(月)	4	Ⅱ-4 酸化還元	
22	6/30(水)	2	Ⅱ-4 酸化還元	
23	7/5(月)	4	Ⅱ-5 化学反応と量	
24	7/7(水)	2	Ⅱ-5 化学反応と量	
25	7/12(月)	4	Ⅱ-5 化学反応と量	
26	7/14(水)	2	生物・化学分野過去問演習	
27	7/19(月)	4	生物・化学分野過去問演習	
28	7/21(水)	2	生物・化学分野過去問演習	
29	7/26(月)	4	生物・化学分野過去問演習	
30	7/28(水)	2	前期試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	水野 優花
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )				単位数 4単位
授業内容	公務員試験の出題範囲である「自然科学」のうち、生物・化学の分野について講義を行い、公務員試験の出題傾向を知る。				
到達目標	公務員試験「自然科学」(生物・化学分野)が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 理科 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	2	ガイダンス Ⅲ-1 生命の連続	
2	4/8(木)	2	Ⅲ-1 生命の連続	
3	4/14(水)	2	Ⅲ-1 生命の連続	
4	4/15(木)	2	Ⅲ-2 同化と異化	
5	4/21(水)	2	Ⅲ-2 同化と異化	
6	4/22(木)	2	Ⅲ-2 同化と異化	
7	4/28(水)	2	Ⅲ-3 ヒトの体内環境(1)	
8	5/6(木)	2	Ⅲ-3 ヒトの体内環境(1)	
9	5/12(水)	2	Ⅲ-4 ヒトの体内環境(2)	
10	5/13(木)	2	Ⅲ-4 ヒトの体内環境(2)	
11	5/19(水)	2	Ⅲ-5 生物の集団	
12	5/20(木)	2	Ⅲ-5 生物の集団	
13	5/26(水)	2	Ⅱ-1 物質の構成	
14	5/27(木)	2	Ⅱ-1 物質の構成	
15	6/3(木)	2	Ⅱ-1 物質の構成	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	水野 優花
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/9(水)	2	Ⅱ-2 非金属の物質	
17	6/10(木)	2	Ⅱ-2 非金属の物質	
18	6/16(水)	2	Ⅱ-3 金属の物質	
19	6/17(木)	2	Ⅱ-3 金属の物質	
20	6/23(水)	2	Ⅱ-4 酸化還元	
21	6/24(木)	2	Ⅱ-4 酸化還元	
22	6/30(水)	2	Ⅱ-4 酸化還元	
23	7/1(木)	2	Ⅱ-5 化学反応と量	
24	7/7(水)	2	Ⅱ-5 化学反応と量	
25	7/8(木)	2	Ⅱ-5 化学反応と量	
26	7/14(水)	2	生物・化学分野過去問演習	
27	7/15(木)	2	生物・化学分野過去問演習	
28	7/21(水)	2	生物・化学分野過去問演習	
29	7/28(水)	2	生物・化学分野過去問演習	
30	7/29(木)	2	前期試験	



開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習 I			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験の出題範囲である「自然科学」のうち、物理・地学の分野について講義を行い、公務員試験の出題傾向を知る。				
到達目標	公務員試験「自然科学」(物理・地学分野)が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 理科 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	4	ガイダンス IV-1 地球	
2	4/15(木)	4	IV-1 地球	
3	4/22(木)	4	IV-3 気象	
4	5/6(木)	4	IV-3 気象	
5	5/13(木)	4	IV-2 天体	
6	5/20(木)	4	IV-2 天体	
7	5/27(木)	4	I-1 速度と距離	
8	6/3(木)	4	I-1 速度と距離	
9	6/10(木)	4	I-2 力	
10	6/17(木)	4	I-2 力	
11	6/24(木)	4	I-3 エネルギー	
12	7/1(木)	4	I-3 エネルギー	
13	7/8(木)	4	I-4 波	
14	7/15(木)	4	I-5 電気	
15	7/29(木)	4	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習 I			担当者名	水野 優花
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )		単位数	2単位	
授業内容	公務員試験の出題範囲である「自然科学」のうち、物理・地学の分野について講義を行い、公務員試験の出題傾向を知る。				
到達目標	公務員試験「自然科学」(物理・地学分野)が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 理科 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(金)	2	ガイダンス IV-1 地球	
2	4/16(金)	2	IV-1 地球	
3	4/23(金)	2	IV-3 気象	
4	4/30(金)	2	IV-3 気象	
5	5/7(金)	2	IV-2 天体	
6	5/21(金)	2	IV-2 天体	
7	5/28(金)	2	I-1 速度と距離	
8	6/4(金)	2	I-1 速度と距離	
9	6/11(金)	2	I-2 力	
10	6/18(金)	2	I-2 力	
11	6/25(金)	2	I-3 エネルギー	
12	7/2(金)	2	I-3 エネルギー	
13	7/9(金)	2	I-4 波	
14	7/16(金)	2	I-5 電気	
15	7/30(金)	2	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	瀬木 翼・池田 智子
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分		総授業回数 30 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )				単位数 4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。				
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	瀬木：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。 池田：警察官として、事件捜査、警察学校の教官、企画部門や秘書的な業務に従事した。警察行政から現場まで幅広い職務を経験したことを活かし、将来役立つスキルを身につける方法を伝えていきたい。				
使用教材	"絶対"合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(火)	3	ガイダンス 世22 中国史①／世23 中国史②	
2	4/13(火)	4	日11 近世1(安土桃山時代) 日12 近世2(江戸時代1)	
3	4/20(火)	3	世24 中国史③ 世25 中国史④	
4	4/20(火)	4	日13 近世3(江戸時代2) 日14 近世4(江戸時代3)	
5	4/27(火)	3	世26 中国史⑤ 世27 中国史⑥	
6	4/27(火)	4	日15 近世5(江戸時代4) 日16 近世6(江戸時代5)	
7	5/11(火)	3	世28 中国史⑦ 世29 中国史⑧	
8	5/11(火)	4	日17 近世7(江戸時代6) 日18 近代1(明治1)	
9	5/18(火)	3	世30 中国史⑨ 世31 中国史⑩	
10	5/18(火)	4	日19 近代2(明治2) 日20 近代3(明治3)	
11	5/25(火)	3	世32 中国史⑪ 世33 中国史⑫	
12	5/25(火)	4	日21 近代4(明治4) 日22 近代5(大正)	
13	6/1(火)	3	世6 近代ヨーロッパ① 世7 近代ヨーロッパ②	
14	6/1(火)	4	日23 近代6(昭和1) 日24 近代7(昭和2)	
15	6/8(火)	3	世8 近代ヨーロッパ③ 世9 市民革命①	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	瀬木 翼・池田 智子
学科	公務員科	コース		学年	1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/8(火)	4	日25 現代1(戦後1) 日26 現代2(戦後2)	
17	6/15(火)	3	世10 市民革命② 世11 市民革命③	
18	6/15(火)	4	日30 文化史4 日31 文化史5	
19	6/22(火)	3	世12 ナポレオン時代 世13 産業革命	
20	6/22(火)	4	日32 文化史6 近現代のまとめ	
21	6/29(火)	3	世14 19~20Cのヨーロッパ① 世15 19~20Cのヨーロッパ②	
22	6/29(火)	4	日1 古代1~日3 古代3	
23	7/6(火)	3	世16 帝国主義から世界大戦へ 世17 ロシア革命と戦後の国際社会	
24	7/6(火)	4	日4 古代4~日6 古代6	
25	7/13(火)	3	世18 戦間期の欧米諸国 世19 第二次世界大戦	
26	7/13(火)	4	日7 中世1(鎌倉時代初期) 日8 中世2(鎌倉時代中期以降)	
27	7/20(火)	3	世20 戦後と冷戦のはじまり 世21 冷戦の拡大、各国の首脳	
28	7/20(火)	4	日9 中世3(南北朝~室町初期) 日10 中世4(室町中期以降~)	
29	7/27(火)	3	復習	
30	7/27(火)	4	前期試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	田口 和吉・池田 智子
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分	総授業回数 30 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )		単位数	4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。				
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	田口：なし 池田：警察官として、事件捜査、警察学校の教官、企画部門や秘書的な業務に従事した。警察行政から現場まで幅広い職務を経験したことを活かし、将来役立つスキルを身につける方法を伝えていきたい。				
使用教材	"絶対"合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(金)	3	ガイダンス 世22 中国史①／世23 中国史②	
2	4/13(火)	3	日11 近世1(安土桃山時代) 日12 近世2(江戸時代1)	
3	4/16(金)	3	世24 中国史③ 世25 中国史④	
4	4/20(火)	3	日13 近世3(江戸時代2) 日14 近世4(江戸時代3)	
5	4/23(金)	3	世26 中国史⑤ 世27 中国史⑥	
6	4/27(火)	3	日15 近世5(江戸時代4) 日16 近世6(江戸時代5)	
7	4/30(金)	3	世28 中国史⑦ 世29 中国史⑧	
8	5/7(金)	3	世30 中国史⑨ 世31 中国史⑩	
9	5/11(火)	3	日17 近世7(江戸時代6) 日18 近代1(明治1)	
10	5/18(火)	3	日19 近代2(明治2) 日20 近代3(明治3)	
11	5/21(金)	3	世32 中国史⑪ 世33 中国史⑫	
12	5/25(火)	3	日21 近代4(明治4) 日22 近代5(大正)	
13	5/28(金)	3	世6 近代ヨーロッパ① 世7 近代ヨーロッパ②	
14	6/1(火)	3	日23 近代6(昭和1) 日24 近代7(昭和2)	
15	6/4(金)	3	世8 近代ヨーロッパ③ 世9 市民革命①	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	田口 和吉・池田 智子
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/8(火)	3	日25 現代1(戦後1) 日26 現代2(戦後2)	
17	6/11(金)	3	世10 市民革命② 世11 市民革命③	
18	6/15(火)	3	日30 文化史4 日31 文化史5	
19	6/18(金)	3	世12 ナポレオン時代 世13 産業革命	
20	6/22(火)	3	日32 文化史6 近現代のまとめ	
21	6/25(金)	3	世14 19~20Cのヨーロッパ① 世15 19~20Cのヨーロッパ②	
22	6/29(火)	3	日1 古代1~日3 古代3	
23	7/2(金)	3	世16 帝国主義から世界大戦へ 世17 ロシア革命と戦後の国際社会	
24	7/6(火)	3	日4 古代4~日6 古代6	
25	7/9(金)	3	世18 戦間期の欧米諸国 世19 第二次世界大戦	
26	7/13(火)	3	日7 中世1(鎌倉時代初期) 日8 中世2(鎌倉時代中期以降)	
27	7/16(金)	3	世20 戦後と冷戦のはじまり 世21 冷戦の拡大、各国の首脳	
28	7/20(火)	3	日9 中世3(南北朝~室町初期) 日10 中世4(室町中期以降~)	
29	7/27(火)	3	復習	
30	7/30(金)	3	前期試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	加藤 佳明
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	政治および経済分野の知識習得				
到達目標	公務員試験合格				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	社会科学 テキスト編				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	3	統治機構 三権分立	
2	4/12(月)	3	統治機構 国会	
3	4/15(木)	3	統治機構 内閣	
4	4/19(月)	3	統治機構 裁判所	
5	4/22(木)	3	日本国憲法の基本的性格	
6	4/26(月)	3	地方自治	
7	5/6(木)	3	選挙制度	
8	5/10(月)	3	民主主義の発展	
9	5/13(木)	3	各国の政治制度	
10	5/17(月)	3	基本的人権の尊重 自由権	
11	5/20(木)	3	基本的人権の尊重 社会権	
12	5/24(月)	3	基本的人権の尊重 その他	
13	5/27(木)	3	国際政治と日本	
14	5/31(月)	3	経済の仕組み 市場と価格	
15	6/3(木)	3	企業の仕組み	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	0 %	学習成果評価 (定期試験) 100 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	加藤 佳明
学科	公務員科	コース		学年	1年 (A組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/7(月)	3	景気と物価	
17	6/10(木)	3	金融と日本銀行の金融政策	
18	6/14(月)	3	財政政策	
19	6/17(木)	3	為替レートと貿易	
20	6/21(月)	3	国際経済との関わり	
21	6/24(木)	3	国民所得と経済成長	
22	6/28(月)	3	現代日本経済の構造と課題	
23	7/1(木)	3	経済学史	
24	7/5(月)	3	問題演習①	
25	7/8(木)	3	問題演習②	
26	7/12(月)	3	問題演習③	
27	7/15(木)	3	問題演習④	
28	7/19(月)	3	問題演習⑤	
29	7/26(月)	3	問題演習⑥	
30	7/29(木)	3	前期末試験	



開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	加藤 佳明
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 2 回で 15 週実施 )			単位数	4単位
授業内容	政治および経済分野の知識習得				
到達目標	公務員試験合格				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	社会科学 テキスト編				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	4	統治機構 三権分立	
2	4/12(月)	4	統治機構 国会	
3	4/15(木)	4	統治機構 内閣	
4	4/19(月)	4	統治機構 裁判所	
5	4/22(木)	4	日本国憲法の基本的性格	
6	4/26(月)	4	地方自治	
7	5/6(木)	4	選挙制度	
8	5/10(月)	4	民主主義の発展	
9	5/13(木)	4	各国の政治制度	
10	5/17(月)	4	基本的人権の尊重 自由権	
11	5/20(木)	4	基本的人権の尊重 社会権	
12	5/24(月)	4	基本的人権の尊重 その他	
13	5/27(木)	4	国際政治と日本	
14	5/31(月)	4	経済の仕組み 市場と価格	
15	6/3(木)	4	企業の仕組み	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	0 %	学習成果評価 (定期試験)	100 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	加藤 佳明
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
16	6/7(月)	4	景気と物価	
17	6/10(木)	4	金融と日本銀行の金融政策	
18	6/14(月)	4	財政政策	
19	6/17(木)	4	為替レートと貿易	
20	6/21(月)	4	国際経済との関わり	
21	6/24(木)	4	国民所得と経済成長	
22	6/28(月)	4	現代日本経済の構造と課題	
23	7/1(木)	4	経済学史	
24	7/5(月)	4	問題演習①	
25	7/8(木)	4	問題演習②	
26	7/12(月)	4	問題演習③	
27	7/15(木)	4	問題演習④	
28	7/19(月)	4	問題演習⑤	
29	7/26(月)	4	問題演習⑥	
30	7/29(木)	4	前期末試験	

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解 I			担当者名	菅野 祥一
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )		単位数	2単位	
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。				
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	保険会社でルートセールス営業や社員の管理・育成に携わった。また、人事コンサルタントとして働き方改革事業の企画・運営や研修業務を担当していることから、一人でも多くの学生の自己肯定感を引き出したい。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 文章理解 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(金)	2	ガイダンス 文章理解の出題傾向	
2	4/16(金)	2	1 内容一致	
3	4/23(金)	2	1 内容一致	
4	4/30(金)	2	1 内容一致	
5	5/7(金)	2	1 内容一致	
6	5/21(金)	2	2 要旨	
7	5/28(金)	2	2 要旨	
8	6/4(金)	2	2 要旨	
9	6/11(金)	2	3 文章整序	
10	6/18(金)	2	3 文章整序	
11	6/25(金)	2	3 文章整序	
12	7/2(金)	2	4 空欄補充	
13	7/9(金)	2	4 空欄補充	
14	7/16(金)	2	6 その他	
15	7/30(金)	2	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験の「文章理解」(現代文)分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。				
到達目標	「文章理解」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 文章理解 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(月)	3	ガイダンス 文章理解の出題傾向	
2	4/19(月)	3	1 内容一致	
3	4/26(月)	3	1 内容一致	
4	5/10(月)	3	1 内容一致	
5	5/17(月)	3	1 内容一致	
6	5/24(月)	3	2 要旨	
7	5/31(月)	3	2 要旨	
8	6/7(月)	3	2 要旨	
9	6/14(月)	3	3 文章整序	
10	6/21(月)	3	3 文章整序	
11	6/28(月)	3	3 文章整序	
12	7/5(月)	3	4 空欄補充	
13	7/12(月)	3	4 空欄補充	
14	7/19(月)	3	6 その他	
15	7/26(月)	3	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性 I			担当者名	漆畑 貴久
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )			単位数	2単位
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	各公務員試験の適性試験（事務系のみ）及び作文試験において合格基準を満たす				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	3	適性試験 作文の書き方 公務員として活かしたい私の長所	
2	4/14(水)	3	適性試験 失敗から学んだこと	
3	4/21(水)	3	適性試験 仕事をする上で最も大切だと思うこと	
4	4/28(水)	3	適性試験 他人に対する配慮について思うこと	
5	5/12(水)	3	適性試験 これからチャレンジしたいこと	
6	5/19(水)	3	適性試験 大人と子供の違いについて	
7	5/26(水)	3	適性試験 自分が成長したと思うこと	
8	6/9(水)	3	適性試験 言葉の大切さについて思うこと	
9	6/16(水)	3	適性試験 住民から信頼される公務員に大切なこと	
10	6/23(水)	3	適性試験 今の私と将来の私	
11	6/30(水)	3	適性試験 私を変えた一言、忘れられない一言	
12	7/7(水)	3	適性試験 目標を立ててチャレンジしたこと	
13	7/14(水)	3	適性試験 今までで最も感動したこと	
14	7/21(水)	3	適性試験 人と接する上で必要なこと	
15	7/28(水)	3	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性 I			担当者名	菅野 祥一
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )		単位数	2単位	
授業内容	公務員試験における適性試験及び作文試験対策				
到達目標	各公務員試験の適性試験（事務系のみ）及び作文試験において合格基準を満たす				
担当教員 実務経験	保険会社でルートセールス営業や社員の管理・育成に携わった。また、人事コンサルタントとして働き方改革事業の企画・運営や研修業務を担当していることから、一人でも多くの学生の自己肯定感を引き出したい。				
使用教材	プリント配付				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(金)	1	適性試験 作文の書き方 公務員として活かしたい私の長所	
2	4/16(金)	1	適性試験 失敗から学んだこと	
3	4/23(金)	1	適性試験 仕事をする上で最も大切だと思うこと	
4	4/30(金)	1	適性試験 他人に対する配慮について思うこと	
5	5/7(金)	1	適性試験 これからチャレンジしたいこと	
6	5/21(金)	1	適性試験 大人と子供の違いについて	
7	5/28(金)	1	適性試験 自分が成長したと思うこと	
8	6/4(金)	1	適性試験 言葉の大切さについて思うこと	
9	6/11(金)	1	適性試験 住民から信頼される公務員に大切なこと	
10	6/18(金)	1	適性試験 今の私と将来の私	
11	6/25(金)	1	適性試験 私を変えた一言、忘れられない一言	
12	7/2(金)	1	適性試験 目標を立ててチャレンジしたこと	
13	7/9(金)	1	適性試験 今までで最も感動したこと	
14	7/16(金)	1	適性試験 人と接する上で必要なこと	
15	7/30(金)	1	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料解釈 I			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回	授業形態	講義	
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )		単位数	2単位	
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	2	適性検査① ガイダンス	
2	4/15(木)	2	適性検査② Ⅲ-1 指数	
3	4/22(木)	2	適性検査③ Ⅲ-1 指数	
4	5/6(木)	2	適性検査④ Ⅲ-2 増加率	
5	5/13(木)	2	適性検査⑤ Ⅲ-2 増加率	
6	5/20(木)	2	適性検査⑥ Ⅲ-3 割合	
7	5/27(木)	2	適性検査⑦ Ⅲ-4 実数	
8	6/3(木)	2	適性検査⑧ Ⅲのまとめ	
9	6/10(木)	2	適性検査⑨ Ⅱ-4 角度	
10	6/17(木)	2	適性検査⑩ Ⅱ-4 角度	
11	6/24(木)	2	適性検査⑪ Ⅱ-5 円の性質	
12	7/1(木)	2	適性検査⑫ Ⅱ-6 図形の相似	
13	7/8(木)	2	適性検査⑬ 資料解釈総合問題①	
14	7/15(木)	2	適性検査⑭ 資料解釈総合問題②	
15	7/29(木)	2	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料解釈 I			担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験とリラクゼーションスペースを運営する会社での接客経験を活かし、学生ひとりひとりの現状と心情を把握し、求められる指導を行う。				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/7(水)	3	適性検査① ガイダンス	
2	4/14(水)	3	適性検査② Ⅲ-1 指数	
3	4/21(水)	3	適性検査③ Ⅲ-1 指数	
4	4/28(水)	3	適性検査④ Ⅲ-2 増加率	
5	5/12(水)	3	適性検査⑤ Ⅲ-2 増加率	
6	5/19(水)	3	適性検査⑥ Ⅲ-3 割合	
7	5/26(水)	3	適性検査⑦ Ⅲ-4 実数	
8	6/9(水)	3	適性検査⑧ Ⅲのまとめ	
9	6/16(水)	3	適性検査⑨ Ⅱ-4 角度	
10	6/23(水)	3	適性検査⑩ Ⅱ-4 角度	
11	6/30(水)	3	適性検査⑪ Ⅱ-5 円の性質	
12	7/7(水)	3	適性検査⑫ Ⅱ-6 図形の相似	
13	7/14(水)	3	適性検査⑬ 資料解釈総合問題①	
14	7/21(水)	3	適性検査⑭ 資料解釈総合問題②	
15	7/28(水)	3	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %



開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート) 地理 単元で押さえておきたい10問 (プリント)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(金)	1	ガイダンス 1 気候(1)	
2	4/16(金)	4	1 気候(1) 2 気候(2)・土壌	
3	4/23(金)	4	3 風・日本の気候 4 地形(1)	
4	4/30(金)	4	5 地形(2) 6 地形(3)	
5	5/7(金)	4	7 地図 8 世界の農牧業(1)	
6	5/21(金)	4	9 世界の農牧業(2) 10 生産量・輸出量・発電	
7	5/28(金)	4	11 東アジア(1) 12 東アジア(2)	
8	6/4(金)	4	13 東南アジア(1) 14 東南アジア(2)	
9	6/11(金)	4	15 南アジア 16 西アジア	
10	6/18(金)	4	17 アフリカ 18 ヨーロッパ(1)	
11	6/25(金)	4	19 ヨーロッパ(2) 20 ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	7/2(金)	4	21 北アメリカ 22 南アメリカ	
13	7/9(金)	4	23 オセアニア 24 人口 25 漁業・産業	
14	7/16(金)	4	まとめの授業	
15	7/30(金)	4	前期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験) 80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員演習 I			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート) 地理 単元で押さえておきたい10問 (プリント)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/13(火)	4	ガイダンス 1 気候(1)	
2	4/20(火)	4	1 気候(1) 2 気候(2)・土壌	
3	4/27(火)	4	3 風・日本の気候 4 地形(1)	
4	5/11(火)	4	5 地形(2) 6 地形(3)	
5	5/18(火)	4	7 地図 8 世界の農牧業(1)	
6	5/25(火)	4	9 世界の農牧業(2) 10 生産量・輸出量・発電	
7	6/1(火)	4	11 東アジア(1) 12 東アジア(2)	
8	6/8(火)	4	13 東南アジア(1) 14 東南アジア(2)	
9	6/15(火)	4	15 南アジア 16 西アジア	
10	6/22(火)	4	17 アフリカ 18 ヨーロッパ(1)	
11	6/29(火)	4	19 ヨーロッパ(2) 20 ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	7/6(火)	4	21 北アメリカ 22 南アメリカ	
13	7/13(火)	4	23 オセアニア 24 人口 25 漁業・産業	
14	7/20(火)	4	まとめの授業	
15	7/27(火)	4	前期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験) 80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能 I			担当者名	菅野 祥一
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	公務員試験・漢字検定に向けた「漢字テスト」の実施ならびに、公務員試験で知っておきたい一般常識について講義する。また、適性検査の練習も行う。				
到達目標	漢字の読み取り・書き取りの力が向上し、一般常識が分かるようになる。				
担当教員実務経験	保険会社でルートセールス営業や社員の管理・育成に携わった。また、人事コンサルタントとして働き方改革事業の企画・運営や研修業務を担当していることから、一人でも多くの学生の自己肯定感を引き出したい。				
使用教材	新編 級別漢字セミナー (浜島書店) 一般常識チェック&マスター (実教出版)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(金)	3	ガイダンス 適性試験 ことわざ/故事成語	
2	4/16(金)	3	漢字テスト① 適性試験 素養試験	
3	4/23(金)	3	漢字テスト② 適性試験 ことわざ/故事成語	
4	4/30(金)	3	漢字テスト③ 適性試験 四字熟語 (I)	
5	5/7(金)	3	漢字テスト④ 適性試験 四字熟語 (I)	
6	5/21(金)	3	漢字テスト⑤ 適性試験 四字熟語 (II)	
7	5/28(金)	3	漢字テスト⑥ 適性試験 国語の常識問題 (I)	
8	6/4(金)	3	漢字テスト⑦ 適性試験 国語の常識問題 (II)	
9	6/11(金)	3	漢字テスト⑧ 適性試験 社会の常識問題 (I)	
10	6/18(金)	3	漢字テスト⑨ 適性試験 社会の常識問題 (II)	
11	6/25(金)	3	漢字テスト⑩ 適性試験 読みにくい漢字	
12	7/2(金)	3	漢字テスト⑪ 適性試験 同音異義語の書き取り	
13	7/9(金)	3	漢字テスト⑫ 適性試験 同訓異義語の書き取り	
14	7/16(金)	3	漢字テスト⑬ 適性試験 同義語・対義語/漢字の総合問題	
15	7/30(金)	3	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能 I			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース		学年	1年 (B組)
授業時間	総時間数 1,350 分	総授業回数 15 回		授業形態	講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )			単位数	2単位
授業内容	公務員試験・漢字検定に向けた「漢字テスト」の実施ならびに、公務員試験で知っておきたい一般常識について講義する。また、適性検査の練習も行う。				
到達目標	漢字の読み取り・書き取りの力が向上し、一般常識が分かるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	新編 級別漢字セミナー (浜島書店) 一般常識チェック&マスター (実教出版)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/8(木)	3	ガイダンス 適性試験 ことわざ/故事成語	
2	4/15(木)	3	漢字テスト① 適性試験 素養試験	
3	4/22(木)	3	漢字テスト② 適性試験 ことわざ/故事成語	
4	5/6(木)	3	漢字テスト③ 適性試験 四字熟語 (I)	
5	5/13(木)	3	漢字テスト④ 適性試験 四字熟語 (I)	
6	5/20(木)	3	漢字テスト⑤ 適性試験 四字熟語 (II)	
7	5/27(木)	3	漢字テスト⑥ 適性試験 国語の常識問題 (I)	
8	6/3(木)	3	漢字テスト⑦ 適性試験 国語の常識問題 (II)	
9	6/10(木)	3	漢字テスト⑧ 適性試験 社会の常識問題 (I)	
10	6/17(木)	3	漢字テスト⑨ 適性試験 社会の常識問題 (II)	
11	6/24(木)	3	漢字テスト⑩ 適性試験 読みにくい漢字	
12	7/1(木)	3	漢字テスト⑪ 適性試験 同音異義語の書き取り	
13	7/8(木)	3	漢字テスト⑫ 適性試験 同訓異義語の書き取り	
14	7/15(木)	3	漢字テスト⑬ 適性試験 同義語・対義語/漢字の総合問題	
15	7/29(木)	3	前期試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習 I			担当者名	松井 幸三郎
学科	公務員科	コース			学年 1年 (A組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	本校の授業で習った内容を総合的に問題演習し、授業内容の定着を図る。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	問題演習を行い、正答率を上げることができる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	確認テスト・事務適性検査過去問				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(月)	1	ガイダンス 公務員試験・事務適性検査とは？	
2	4/19(月)	1	確認テスト・事務適性検査(1)	
3	4/26(月)	1	確認テスト・事務適性検査(2)	
4	5/10(月)	1	確認テスト・事務適性検査(3)	
5	5/17(月)	1	確認テスト・事務適性検査(4)	
6	5/24(月)	1	確認テスト・事務適性検査(5)	
7	5/31(月)	1	確認テスト・事務適性検査(6)	
8	6/7(月)	1	確認テスト・事務適性検査(7)	
9	6/14(月)	1	確認テスト・事務適性検査(8)	
10	6/21(月)	1	確認テスト・事務適性検査(9)	
11	6/28(月)	1	確認テスト・事務適性検査(10)	
12	7/5(月)	1	確認テスト・事務適性検査(11)	
13	7/12(月)	1	確認テスト・事務適性検査(12)	
14	7/19(月)	1	確認テスト・事務適性検査(13)	
15	7/26(月)	1	前期試験・事務適性検査(14)	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 3 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	専門演習 I			担当者名	田口 和吉
学科	公務員科	コース			学年 1年 (B組)
授業時間	総時間数 1,350 分		総授業回数 15 回		授業形態 講義
	( 90 分授業を、週 1 回で 15 週実施 )				単位数 2単位
授業内容	本校の授業で習った内容を総合的に問題演習し、授業内容の定着を図る。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	問題演習を行い、正答率を上げることができる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	確認テスト・事務適性検査過去問				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/12(月)	1	ガイダンス 公務員試験・事務適性検査とは？	
2	4/19(月)	1	確認テスト・事務適性検査(1)	
3	4/26(月)	1	確認テスト・事務適性検査(2)	
4	5/10(月)	1	確認テスト・事務適性検査(3)	
5	5/17(月)	1	確認テスト・事務適性検査(4)	
6	5/24(月)	1	確認テスト・事務適性検査(5)	
7	5/31(月)	1	確認テスト・事務適性検査(6)	
8	6/7(月)	1	確認テスト・事務適性検査(7)	
9	6/14(月)	1	確認テスト・事務適性検査(8)	
10	6/21(月)	1	確認テスト・事務適性検査(9)	
11	6/28(月)	1	確認テスト・事務適性検査(10)	
12	7/5(月)	1	確認テスト・事務適性検査(11)	
13	7/12(月)	1	確認テスト・事務適性検査(12)	
14	7/19(月)	1	確認テスト・事務適性検査(13)	
15	7/26(月)	1	前期試験・事務適性検査(14)	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %